

平成28年度第1回七尾市行財政改革推進委員会 議事録

日 時	平成28年 8月 9日 (火) 午後1時30分～午後3時30分
場 所	七尾市役所 2階 201会議室
出席者	<p>【七尾市行財政改革推進委員】 大松委員、川村委員、熊谷委員、酒井委員、坂本委員、千場委員、橋本委員、濱委員、福田委員、政浦委員、村田委員、元橋委員、森田委員 (※欠席：楠委員、藏委員)</p>
	<p>【事務局】 不嶋市長、岡野総務部長、白田市民生活部長、津田健康福祉部長、前田産業部長、栗津建設部長、浦辺教育部長、前畑議会事務局長、長門七鹿消防本部消防長、寺尾公立能登総合病院経営本部長、福島企画財政課長、奥村管財課長</p>
委員会における審議事項 (質疑応答・意見等)	
委員	<p>1. 市長あいさつ (※あいさつ後に退席)</p> <p>2. 委員紹介、事務局自己紹介</p> <p>3. 委員長選任</p> <p>4. 委員長あいさつ</p> <p>私は旧田鶴浜町在住であるが、かつては鹿島郡から七尾へ行くことを「上り」、その逆を「下り」と表現し、学生の頃は七尾市と旧3町の学生と一緒に勉強した。合併を経て、今こうして一つの七尾市として行革委員会に携われることを嬉しく思う。合併により市としては大きくなったが、財政状況の問題も多い中で行財政改革推進委員会を立ち上げ、プランを策定し改革に取り組んできた。資料に目を通したところ、七尾市として状況はだんだん良くなっていると思う反面、自分の住んでいる地域にあてはめて考えると、もっとここをこうしたらいいのでは、という点がいくつも出てくる。本日は、行財政改革3次プランの平成26年度、27年度の取組状況について報告を受けるととも</p>

委員	<p>に、昨年策定された公共施設等総合管理計画についての説明もあるとの事。委員の皆さんにはこれから2年間よろしくお願ひしたい。</p> <p>5. 副委員長選任</p> <p>6. 副委員長あいさつ</p> <p>市に勤めていた経験から行財政改革そのものは承知しているが、当時は改革というより予算獲得に対する意識が高かったこともあり、果たしてこの委員が務まるだろうかとの思いもある。委員長をはじめ、知った委員の方も多くいらっしゃるので、精一杯務めさせていただきたい。</p> <p>7. 審議事項</p>
委員	<p>行財政改革3次プランの取組状況について、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>(資料により説明)</p>
委員	<p>引き続き、公共施設等総合管理計画について、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>(資料により説明)</p>
委員	<p>－質疑・意見－</p> <p>公民館のコミュニティセンター化が実施されて4か月が経過し、中島地区では先日関係者による意見交換を行った。参加者は、地域づくり協議会役員、町会連合会役員、地元議員、行政サービスコーナー職員等。コミュニティセンター化が実施されて良くなったのか悪くなったのか、それとも何も変わっていないのか等、いろいろ話し合った。そ</p>

	<p>の中で、行政職員からは「業務内容は変わっていないが余裕がなくなった」との声があり、町会連合会役員からは、「あまり変わったようには見えないが、職員に何か用事があってもあまりにも忙しそうで声をかけづらい」との意見があった。また、高齢者から「行政は完全に何もしてくれなくなった、いよいよ地域のことは自分達でなんとかしなければならない時期にきた」との声が聞かれ、これまで何度も言ってきた「意識改革が必要」という気持ちが高まってきたという地区もあった。しかしながら、今までどおり「住民サービスは行政が率先して考え、与えてくれるものである」という意識が根付いているのも事実である。3次プランには、「市民と行政の役割分担による事務事業の見直し」を掲げているが、地域の課題を地域で考えろと言っても何をどうすればいいのかわからないのが現状であり問題である。特に、今年から防災と福祉の機能が加わり、災害時に行政が何をどこまでしてくれるのか、地域づくり協議会として何をすればいいのか、何ができるのかをもう一度考えて整理してもらいたい。</p>
委員	<p>今のご意見について、田鶴浜地区ではいかがか。</p>
委員	<p>中島地区と同様に「何をどうすればいいのか」という感覚は田鶴浜地区にもあると思う。5つの部会を立ち上げ、5か年計画を作成したところであり、今後各部会で進めていくが、災害や福祉等難しい面もある。まだスタートしたばかりなのでこれからではないかと思っている。</p>
委員	<p>もう一度基本に戻って、コミュニティセンターで何ができるのか、特に防災や福祉の問題について、地域づくり協議会としてどこまでどうできるのか、行政と地域のすみわけに迷っている状況もあるのではないかと思う。とはいえ、地域はわからないなりに進めていこうという気持ちも持っている現状である。</p>

委員	<p>石崎でもコミュニティセンターがスタートしたが、田鶴浜地区や中島地区、能登島地区とはまた少し事情が異なり、やりやすい面もあるのかもしれない。立ち上げから4か月が経過し思うことは、おそらくこの地域でも、住民は「地域の事は自分達でやらなければいけない」と感じている。ただ、その中で例えば行政からの資金の流れも、公民館や健康推進員など別々に交付されており、これを一本化できないものかとか、地域の活性化として何をすればいいかと模索している状況であると思う。良かった点は、石崎地区全体の事業を網羅する中で活動しているところだろう。石崎地区では、地域活性化の取組みとして、石崎奉燈祭に来る観光客向けの売店に挑戦してみたが、祭り当日は活動できない地域住民が多く、七尾の商店街から支援に来てもらったものの、夜店に多く人が流れ、実際にはあまりお客さんが来なかった。行政には、何をどうやったらいいかポイント的に指導していただきたい。</p>
事務局	<p>15地区それぞれで状況や事情が異なるので一概には言えないが、まずは話合いの中から地域の課題や解決方法を探っていただき、その中で解決できない部分については市に相談いただければと考えている。何から手を付ければいいのかという点については、防災や福祉等、テーマをしぼった各部会の中でいろいろ意見を出していただき、地域で解決できることと行政に任せなければならないことを整理して、ご提案いただければと考えている。現在市では、地域づくり協議会を支援していく体制として庁内連絡会を立ち上げ、さらに各部の担当者による庁内横断的な実務担当者会議を設けたところである。地域からの課題や提案に対応させていただくとともに、共助の部分について具体的にどういったことを地域にお願いできるのかというメニュー出しに取り組んでいる。なお、担当の地域づくり支援課においても職員に各地区担当を割り当てているので、気軽に相談していただきたい。今後も地域づくり協議会の皆様と相談しながら進めてまいりたい。</p>

委員	<p>地区担当職員を設け、共助メニューを整えているとの事であり、これらがあるとないとでは動き方が全く違ってくると思う。しかし、以前の委員会から何度も申し上げているとおり、職員に対する教育体制は出来上がっているようだが、今の地域づくり協議会を活かすのであれば、行政との関わり方について町会長レベルでの教育をしてもらいたい。共助メニューが整っても、地域がそれを見て何も感じなければ全く先へ進まない。少しずつ住民の意識改革が進みつつあるので、町会長レベルで教育する仕組みを整えてもらいたい。</p>
委員	<p>中島中学校、御祓中学校等、統合により空いた建物は今後どうするのか。耐震化されておらず、財政も厳しいとの理由で放置されるのか。</p>
事務局	<p>空きとなる学校施設の処遇について、現段階で具体的な計画はない。今年度作成する公共施設等総合管理計画の個別計画の中で、校舎、運動場、体育施設等それぞれについて整理する。中には耐震化されている施設もあり、これらも含めてトータル的に考えていきたい。時期等についても未定であり、ご了解いただきたい。</p>
委員	<p>現在のケーブルテレビ、下水道の接続状況はどうなっているか。</p>
事務局	<p>下水道接続状況について、資料にも記載のとおり平成27年度末の七尾市全体の接続率は80.7%となっている。旧市町別では、七尾地区74.9%、田鶴浜地区92.0%、中島地区86.2%、能登島地区97.6%である。さらに細分化すると、七尾処理区64.9%、和倉処理区79.9%となっている。</p>
事務局	<p>ケーブルテレビの加入状況について、平成27年度末で、7,891世帯、加入率37.9%である。</p>

委員	<p>ケーブルテレビ加入率37.9%はあまりにも低い。市が費用をかけて全地域に整備したのだから、ケーブルテレビが必要でない地域であっても加入してもらうよう力を入れて取り組むべき。特に市職員はもっと自覚をもって率先して加入すべきである。</p>
委員	<p>ふるさと納税の活用について、具体的にどのような方法で目標額1億円を目指す考えか。</p>
事務局	<p>7月末現在、40を超える事業者から100超の返礼品が集まっており、楽天と最終的な調整を進め、9月から開始する予定である。どれだけふるさと納税していただけるかが今後重要になってくるわけだが、納税額の約4割が返礼品として七尾のPRや経済の活性化につながり、3割が寄付金として市への歳入となる。収入増はもちろんだが、七尾市をいろんな形で広くPRできる良い機会と捉え、現在進めているところである。</p>
委員	<p>具体的にどのようにPRしていくのか。漫然とPRするのではなく、例えば首都圏にある七尾出身者の会等とタイアップする等の考えはあるのか。</p>
事務局	<p>県人会等の出身者の会には、専用のリーフレットを作成し配布する予定であり、市長等が出向く機会に渡せるよう準備している。</p>
委員	<p>ちょうど昨日通院したが、薬局でジェネリック医薬品を勧められなかった。患者が自らジェネリック医薬品を希望しないといけないのか、どのように推奨しているのか伺いたい。</p>
事務局	<p>公立能登総合病院では、ジェネリック医薬品利用率向上による利点もあるため非常に力を入れている。院内処方については当然お勧めして</p>

	<p>おり、院外処方に関してもできるだけお願いをしている。薬局でジェネリック医薬品を提案されなくても、患者さんから申し出ていただければ可能なものは対応してもらえることとなっている。</p>
委員	<p>公民館運営協議会とまちづくり協議会の関係について。現状では、まちづくり協議会の実績報告と公民館運営協議会の実績報告が二度必要な形になっている。社会教育法により公民館は残さなければならない中で、公民館運営協議会について七尾市は義務化されているが、法律上の義務付けはないと思う。この辺りの考え方について整理をお願いしたい。</p>
事務局	<p>まちづくり協議会の実績報告に、公民館の実績報告を入れ込む形もあるかと思うが、どんな方法が良いか少し研究させてもらいたい。</p>
委員	<p>現在町会で草刈りを行っているが、シルバー人材センターも事業拡大のため宣伝に力を入れており、利用してほしいとの申し入れがある。高齢者の生きがいづくりという観点から仕事を提供することも大事だと思うが、どのように考えたらよいか。</p>
事務局	<p>地域づくり協議会としても財源を確保していかなければならない状況の中、協議会で担えない部分についてシルバー人材センターにお願いする等、調整していただければと思う。市としても、シルバー人材センターは法人格を有しており、次の事業展開も可能であることから、地域づくり協議会との調整を図りながら双方の支援をしていくのが良いのではないかと考えている。</p>
委員	<p>地域づくり協議会にすれば、財源さえあればシルバー人材センターや管理業者へ業務を委託することもできる。しかし、人件費や指定管理等、限定された現状の予算配分ではそれができず、協議会としては非</p>

	<p>常に運用しにくい。地域でどんな事ができるか考えてくれというが、資金がないのが現状である。資金がある程度流れてくるならば、その中でこういった事業がしたいというのが地域で自然に生まれてくるが、今のやり方では難しい。当初市長はこの件について、市税の1%を地域に出したいとの話もあったはずだが、その辺の基本的な考えがどうなっているのか。必要最低限の資金だけを渡して、地域の事は地域でやってくれと言われても、自分達にこれができるという案が出来上がってこないのは仕方がない。</p>
委員	<p>特定健診の受診率向上について、石崎地区はあまり受診率が良くない。受診率がある程度の目標を達成していかないと保険料に影響すると聞いており、啓発活動を進める必要がある。健康推進員の方々には戸別訪問してはどうかと話したりするが、一方で個人情報保護の問題から制約がかかり活動しにくい。</p>
事務局	<p>七尾市全体の特定健康診査の受診率は、県平均43.4%に比べ、46.3%と若干上回っており、特定保健指導率についても県平均51.7%のところ69.5%となっている。国民健康保険料が上がるのではなく、後期高齢者医療保険への支援金が下げられる利点があり、当市においては率が上回っていることから、支援金がいくらかカバーできている状況である。各地区の受診率向上については、地区担当と共に頑張らせていただきたい。未受診者対策として、健康推進員に依頼するとともに、医療機関にも協力を求め、治療中の患者に対し医師からの受診勧奨をお願いする等、連携を取りながら今後も進めていく。</p>
委員	<p>3次プランにも今後の推計人口が示してあり、人口減少は大きな課題であると思うが、人口減少対策に関する取組項目がないのはなぜか。</p>
事務局	<p>3次プランとは直接関連していないが、昨年度「七尾市人口ビジョン」</p>

	<p>「七尾版総合戦略」を策定し、この中で人口減少への対策について検討している。本日はこの資料を準備していないため、来年2月に開催する次回委員会の際に説明させていただきたい。</p>
委員	<p>以前の委員会から申し上げているが、委員から出された意見について、その後市がどのように検討し具体的に改善したのかがわからないので、結果を教えてもらいたい。</p>
委員	<p>委員から出された意見については、細かいものは別として、個別にどのような対応をしたのかを別紙資料にまとめて示してもらいたい。</p>
事務局	<p>ご指摘の点についてお詫び申し上げます。次回より資料にまとめ、報告させていただきます。</p>
委員	<p>公共施設の適正配置について、市民が利用しやすいよう、利用料金も含めて時代に合わせた見直しをお願いしたい。</p>
事務局	<p>公共施設の利用料金については、毎年度事業見直しの中で予算において各課に使用料・手数料の状況分析を投げかけ、企画財政課において適正と判断している。今後も料金改定が必要と判断すれば、条例改正等を進め、対応していく。</p>
委員	<p>使用料等収納率の向上について、現在どのように努力して取り組んでいるのか。担当職員が変わるたびに徴収が厳しくなったり緩くなったりがあると思うが、そういう点を市の監査委員はチェックしているのかどうか。また、滞納者世帯の個々の状況について、監査委員は見ているのか。近場の数字だけでなく、全体を眺める大きな視点で問題を捉えているのか。</p>

事務局	<p>今回の資料で報告した取組みは、担当が変わっても継続し確実に実施している。ただし、より踏み込んだ進め方があるのかもしれないので、税務課と協議し次回報告したい。</p>
事務局	<p>監査委員も市税を含め収納率は厳しく見ておられるが、個別具体的に注目しているかは把握していない。</p> <p>収納率の向上について、まずは現年度課税分の徴収にしっかり取組み、新規滞納者・滞納額を増やさないように努めている。しかし、市税そのものの賦課額が毎年1億円単位で減っているため、収納率が上がったとしても収入額が下がるという状況にならざるをえない。さらに前年度滞納額も引き継ぐ形になり、確実に取り組んではいるものの成果として見えづらい。税務課には今後もしっかり取り組むよう指示している。</p>
委員	<p>補助金・負担金の見直しについて、毎年相当額の繰越を出している団体には、補助金を出す必要はないと考えるが、どのように見直しているのか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、毎年度予算編成において、繰越のあるものについては補助金の必要性を指摘している。事情が伴うものもあり、予算査定の中で団体や事情を勘案しながら、見直しの視点をもって整理している。ただし、繰越があってもしっかり事業効果があがると判断されるものについては適切な措置が必要と考えている。</p>
委員	<p>再任用職員について、65歳を超えても再任用している現状があると思うが、市民の方は、具体的にどのような資格や能力をもって再任用しているのかを見ている。こういう理由だというのを教えてほしい。</p>
事務局	<p>国家公務員法及び地方公務員法の改正により、25年以上勤務し、各職種で定められた定年年齢で退職する本人が希望した場合は、基本的</p>

	<p>に不都合がない限り再任用を認めることとなっている。これは年金支給開始年齢の段階的な引き上げに伴い、雇用と年金の接続を考慮した法改正である。専門的な方もいれば一般職でも要件を満たせば再任用でき、それぞれ5年以内と定めている。七尾市では、内規を定めて対応しており、本年度退職予定である昭和31年度に生まれた方の場合、年金支給開始年齢が62歳のため2年間の再任用が可能となる。</p>
委員	<p>職員の職務遂行能力の向上について、能力評価の結果によって、例えば後輩が上席に立つ場合等、仕事がやりづらくなる状況があると思うが、その時どのように正していく姿勢が七尾市にはあるのか。</p>
事務局	<p>能力評価と業績評価を今年4月から法改正に伴い実施しており、国家公務員も今年から正式に人事評価制度を導入している。七尾市では、業績評価については勤勉手当に反映し、本給に反映する場合は、業績評価に能力評価を加えて総合的に勘案していくこととなる。今年度は12月賞与の勤勉手当に反映する形で進めていく予定である。特別昇給は平成30年1月からとなり、1年間の業績評価と能力評価を勘案し、各部課長の推薦も得ながら最終的に判断していく。</p>
委員	<p>下水道接続率の向上について、今の時代、国民年金だけで生活している高齢者世帯等、接続しても近い将来空き家になるのが明らかな家も多くある。そのような世帯に対し、多額のお金をかけて設備投資をさせるのが適当なのかどうか。下水道接続したけれどすぐ空き家になって取り壊したり、借入返済だけが残るような状況も考えられる。単に接続率を上げるのではなく、個々の世帯状況に応じて先を見据えながら対応を考える必要があるのではないかと。次回委員会で報告をお願いしたい。</p>
事務局	<p>加入金については、空き家等の居住形態よりも土地にかかるものとし</p>

	<p>て建設費の一部を負担していただくものであり、1 平米 6 0 0 円、一般家庭の場合 4 0 万円を限度としてお願いしている。使用料については立米単位で上水道料金と併せて徴収しており、空き家となった場合には閉栓や使用停止により使用料は発生しないものである。トイレ等水回りの改修費用についても、地元説明会等の機会に宅内工事補助金等の説明もしている。個別にも相談対応させていただく。</p>
委員	<p>市から薬局に対してジェネリック医薬品の勧奨はしているのか。</p>
事務局	<p>平成 2 4 年度からジェネリック医薬品差額通知を実施しているが、この取組みを導入する際に、医師会や薬剤師会等と相談し、各団体を通じて周知を図っている。</p>
委員	<p>時間に限りもあるので本日はここまでとしたい。委員の方々には、膨大な資料にお目通しいただき、貴重なご意見をいただいた。限られた時間の中で、主な意見のみの発言に留めざるをえなかったと思うが、市の方々には、委員の皆さんのご意見を奥深くまで読み取っていただき、日々の業務に励んでもらいたい。</p> <p>次回の委員会は、公共施設等総合管理化計画の個別計画にしばった内容で予定されている。委員の皆さんには資料を十分に読まれて、地域で、また担当分野においてご意見をもってお集まりいただければと思う。</p> <p style="text-align: center;">— 終了 —</p>